



とつても青い空と緑の大地

～ソウル オブ シュバルツ サーガ

ヤチ

「わお ！！」バッキッと木の枝が折れる音とバーサーカーの叫び。
雪女はクスクス 笑う。
またオノが壊れたなど、雪女はクスクス笑う。
少しして「申し訳なし・・・」、「オノをまた壊してしまいました・・・」
しょんぼりバーサーカーが入口に立って、雪女に詫びている。
「お茶にしましょう」雪女はニコニコしながらバーサーカーをテーブルへ誘う。

戦を恐れ逃げてきたバーサーカーは、オノの使い方を知らないのか不器用な
マキワリでオノを壊してしまう。
氷の山で受けた傷が癒えてからバーサーカーはマキワリをしている。
感謝の気持ちで村中のマキワリを一人でやるつもりでやっているが、
オノをよく壊すのでバーサーカーはなんだかしょんぼりしている。
村人たちはバーサーカーの一生懸命がとっても好きなので、
オノのことなど気にもしていないのだけれど。

雪女は思いました「彼と相性のよいオノをわたしが探そう」、
雪女は彼女たち巫女の長老にお教をいただくことにしました。